

競技注意事項

- 1 本競技会は2018年度(財)日本陸上競技連盟競技規則、(社)日本マスターズ陸上競技連合競技規則及び競技細則を準用し、本大会の要項に従って行う。
- 2 トラック、フィールドの各種目ともプログラム記載通りとし、年齢クラスを併合して行う種目はあるが、最終成績はクラス別に順位を決定する。
- 3 練習について

(1) 練習は、室内練習場およびサブグラウンドを使用する。なお、投てき物を使った練習はできない。
投てきの練習は、競技開始前に競技場所で実施する。

(2) 室内練習場へは、第2コーナーのゲート(招集場前)を通路とする。室内での走行は第2ゲート(第2コーナー(1500mスタート)から第3コーナー(200mスタート)方向へ走行すること。

*** 詳細は本注意事項の末尾の図に従うこと**

- 4 選手の招集について

(1) 招集場所は、第2コーナー外側に設ける。(競技配置図を参照)

(2) 招集完了時刻は競技開始時刻を基準とし、下記のとおりとする。

フィールド競技は競技が行われる場所での招集となるので、招集場横から入場しスタンド下を通過して移動する。トラックを横切る場合はコーナー部分からとし十分注意すること。

	招集完了時刻	最終コール
トラック	20分前	招集完了時刻の5分前より招集所で行う
フィールド	40分前	招集完了時刻の5分前より競技場所で行う

(3) 招集の手続き

① 最終コールの場合は、必ず本人が応じナンバーカードを係員に見せること。

② 2種目以上を兼ねて出場し、競技進行の都合で最終コールができない場合は、事前に招集場の係員に申し出ておくこと。***2種目同時出場届の提出**

③ 競技を棄権する場合には、招集開始時刻までに招集所の係員に申し出ること。

- 5 競技について

(1) トラックはすべてタイムレース決勝とする。スタートのコールは英語で行い、フライングについては、1回は認めるが、2回目以降フライングした者を失格とする。

(2) 400mまでのトラック競技で、スターティングブロックを使用しない場合は、出発係に申しでる。

(3) 3000m及び5000mは、それぞれ25分を制限タイムとし競技を終了する。給水所を設ける。

(4) フィールド競技は**試技3回の決勝**とする。

(5) 棒高跳は、公認の室内棒高跳競技場で行う。

(6) スパイクのピンは11本以内、9mm以下とする。但し走高跳及びやり投げは12mm以下とする。

(7) **招集に応じない場合は、その種目を棄権すると見なし処理する。**

- 6 ナンバーカード(ゼッケン)について

(1) ナンバーカードは個人の登録番号を記載した規定のものとし、各自で準備する。

なお、事前にゼッケンを申込んだ者は、当日受付まで取りにくること。

また、受付にて、無地ゼッケンを300円で販売する。(マジックも準備している)

(2) ナンバーカードは胸と背にピンで付けるものとする。但し、跳躍競技に出場する競技者は、胸と背のいずれか一方でもよい。

(3) 800m以上のトラック競技者は写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツ右側後方に付けること。3000m及び5000mの競技者は胸にレーン番号のゼッケンを付ける。

- 7 記録の発表及び記録証について

(1) 記録の発表は、電光掲示板、場内放送及び正面スタンド2階の記録版に掲示する。

(2) 記録証は、500円にて販売するので受付まで申し出ること。後日郵送する。

- 8 使用器具等について

(1) 器具は競技場備え付けのものを使用すること。ただし、棒高跳用ポールに限り個人所有の物を使用すること。ポールの検査は最終点呼後に跳躍審判員が行う。

(2) 三段跳びの踏切板の位置は、11, 9, 7, 5mと状況により担当審判主任が変更することが出来る。その際は、必ず変更の意思を担当審判員に申し出ること。

(3) 競技用具は次の通りとする。

① ハードル競技の種目別基準

【男子】

種目	クラス	高さ	間隔	第1ハードルまで	ゴールまで	ハードル台数
110mH	M24-~M45	99.1cm	9.14m	13.72m	14.02m	10
100mH	M50・M55	91.4cm	8.50m	13.00m	10.50m	10
100mH	M60・M65	84.0cm	8.00m	12.00m	16.00m	10
80mH	M70・M75	76.2cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
80mH	M80+	70.0cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
400mH	M24-~M45	91.4cm	35.00m	45.00m	40.00m	10
400mH	M50・M55	84.0cm	35.00m	45.00m	40.00m	10
300mH	M60・M65	76.2cm	35.00m	50.00m	40.00m	7
300mH	M70・M75	70.0cm	35.00m	50.00m	40.00m	7
200mH	M80+	70.0cm	35.00m	20.00m	40.00m	5

【女子】

種目	クラス	高さ	間隔	第1ハードルまで	ゴールまで	ハードル台数
100mH	W24-~W35	84.0cm	8.50m	13.00m	10.50m	10
80mH	W40・W45	76.2cm	8.00m	12.00m	12.00m	8
80mH	W50・W55	76.2cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
80mH	W60+	70.0cm	7.00m	12.00m	19.00m	8
400mH	W24-~W45	76.2cm	35.00m	45.00m	40.00m	10
300mH	W50・W55	76.2cm	35.00m	50.00m	40.00m	7
300mH	W60・W65	70.0cm	35.00m	50.00m	40.00m	7
200mH	W70+	70.0cm	35.00m	20.00m	40.00m	5

② 投てき競技の種目別基準

【男子】

クラス	砲丸投・ハンマー投	円盤投	やり投
24-~M45	7.260Kg	2.0Kg	800g
M50・M55	6.0Kg	1.5Kg	700g
M60・M65	5.0Kg	1.0Kg	600g
M70・M75	4.0Kg	1.0Kg	500g
M80~	3.0Kg	1Kg	400g

【女子】

クラス	砲丸投・ハンマー投	円盤投	やり投
W24-~W45	4.0Kg	1.0Kg	600g
W50~W70	3.0Kg	1.0Kg	500g
W75~	2.0Kg	0.75Kg	400g

9 表彰について

- (1) 表彰式は行わない。
- (2) 1位・2・3位は賞状をスタンド正面入口横で受け取ること。
- (3) 受賞者が来ず残された賞状は、郵送等を行わないので、必ず取にくること。

10 トレーナーによるマッサージについて

室内練習場の第3コーナー付近にトレーナーブースを設置しており、無料で利用できる。

11 その他

- (1) 競技中に発生した事故については、主催者側は応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
なお、大会参加者は、レクリエーション傷害保険に加入している。
- (2) 本大会の結果および大会の様子は香川陸協のHP及び香川マスターズ陸上競技連盟のHP、その他のマスメディアによって公表される。
- (3) ごみは各自で持ち帰ること